



セミナー会場

4508

田辺三菱製薬



～Open Up the Future-医療の未来を切り拓く～

田辺三菱製薬とは

- **田辺三菱製薬の誕生**
 - ・2007年、田辺製薬と三菱ウェルファーマが合併し、田辺三菱製薬が発足
 - ・三菱ケミカルホールディングスが当社株式の56.3%を持つ筆頭株主
 - ・田辺製薬は1678年に創業し、340年の歴史
- **田辺三菱製薬の概要**
 - ・売上収益の約99%が医療用医薬品
 - ・重点領域は、自己免疫疾患、ワクチン、糖尿病・腎疾患、中枢神経系疾患の4つ
 - ・2017年度売上収益に占める海外比率は26%、ロイヤリティ収入は791億円
- **たなみん**
 - ・当社シンボルマークは「手のひら」をモチーフ
 - ・2016年6月に、この「手のひら」を持つオリジナルキャラクター、「たなみん」が誕生

中期経営計画の達成に向けて

- **海外収益40%へ**
 - ・2020年度の売上収益目標5,000億円の内、海外売上比率は40%をめざす
 - ・米国売上収益800億円を目標としており、国内に次ぐ第二の事業の柱へ
 - ⇒米国事業拡大のステップとして、2017年にALS治療薬「ラジカヴァ」を発売
 - また、パーキンソン病薬の開発を行うニューロゲーム社を買収
 - ・加えて米国で、2019年度に植物由来インフルエンザVLPワクチンの承認取得をめざす
- **パイプライン価値最大化**
 - ・2020年度までに研究開発費4,000億円を投資、後期開発品10品目の創製をめざす
 - ⇒2017年度までに後期開発試験に5品目が進捗

市場の現状、中期経営計画

- **医薬品市場の現状**
 - ・2017年度 医薬品売上高世界トップ50社中、日本の製薬会社9社がランクイン、当社は40位
 - ・日本は世界第3位の新薬創出国
 - ・医薬品の研究開発期間は9～16年に及び、医薬品となる成功確率はわずか25,000分の1
- **Open Up the Future-医療の未来を切り拓く**
 - ・当社成長戦略のキーコンセプト
- **中期経営計画16～20「4つの挑戦」**
 - ・以下「4つの挑戦」によって、2020年度に売上収益5,000億円、コア営業利益1,000億円が目標。
 - ①パイプライン価値最大化
 - ②育薬・営業強化
 - ③米国事業展開
 - ④業務生産性改革

中期経営計画・株主還元

- **育薬・営業強化**
 - ・国内売上収益 3,000億円維持
 - ⇒2017年度実績 3,093億円
 - ・新薬および重点品売上比率 75%
 - ⇒2017年度実績 63%
- **業務生産性改革**
 - ・売上原価・販管費を対2015年度比較で200億円低減
 - ⇒2017年度実績 140億円
- **配当方針**
 - ・「中期経営計画16～20」期間は、配当性向50%を目途に中長期的な利益成長に基づいた配当を行う予定